■キャラクター　ファイル　No.5

キャシー　:20代女性/ホテル従業員

本名:キャサリン＝ブロード

■背景

育った家はとても貧しく、父親は私によく暴力をふるった。
その環境がとても嫌だったが、私が20歳の誕生日を迎えた日、母親から私の出生についてとある情報を知らされる事となる。

私の本当の母親はローザという名前で、若くしてホテルを経営していたのだが、とある事件に巻き込まれて殺されてしまったのだと。

そして、私には双子の姉がいたが、それぞれ別の里親に貰われた。

つまり、私が今まで両親だと思っていたのは、養母・父だったのだ。

ジェシカという姉について〈養母は"裕福な家に貰われ、都会の方で暮らしている"と言った。
その話を聞かされた時、当時の私はとても彼女に嫉妬していた。

私は昔事件のあったそのホテルについて調べた。
事件当時に副支配人だったジャックという男の手にわたり、今でも経営を続けていた。
このジャックという男こそが、ローザを殺害した犯人であると、当時警察は疑っていたらしい。
しかし結局証拠不十分のまま、この事件は未解決で終わっている。

そこで私はこの事件の真相を追うべく、このホテルに従業員として働くことにした。今から1年前の事である。
ジャックはとても優しい壮年の男性だったが、私のキャシーという名前について覚えがないようであった。だけどももしこの男が、私の人生を壊した張本人であるならば許すわけにはいかない。

この男に裁きを与えなくてはいけない。

このホテルには他にロンという雇いのシェフが居た。彼は当初ジャックの事をとても崇拝していたけど、私が「ジャックに性的暴力を受けた」と言って泣き付いたら、彼は私の調査に協力するようになった。

二人でホテルの事を調べているうち、このホテルには支配人しか入る事のできない、施錠された部屋の存在を知る。この部屋の開錠には電子錠で4桁の数字を入力しなくてはならないようだった。
きっとその数字はジャックしか知らない…いや、そういえばジャックの手帳には何か暗号のようなものが書いてあったのを以前見たことがある。もしかしたらそれがヒントかもしれない。

そこで私は18年前に生き別れたという姉のジェシカの存在を思い出した。
思い切って、彼女へ手紙で助けを呼ぶことにしよう。

彼女は高校の教師として働いているらしい、もしかしたらその暗号を解けるかもしれない。

それに…　もし、ジャックを裁きを与えることになった場合、彼女に罪を被せられるかもしれない。

私はロンと共にこのホテルを引き継ぎ、今度こそ幸せな人生を手に入れるのだ。

あなたのパワーポイント
6

※パワーポイントは、目的の証拠を手に入れるために必要になる可能性があります。

※このパワーポイントは各自で管理してください。

■事件のファイル

　私はこのホテルで住み込みで働く従業員として、今日もいつもの一日をむかえる。
本日予約があったのは4名のお客様。
1人目は、ハリーと名乗る常連の男性。常連客です。15時にチェックインされました。

　続いてモルフィスとジェシカ、男女のペア。16時にチェックインされました。
はじめてのお客様でしたが、会ってすぐにこのジェシカが私の双子の姉だと分かりました。
　ジェシカが記載する際、記帳しやすいようにと、ペンと一緒に指サックをお渡ししました。

4人目のお客様はエリスという女性でしたが、19時の時点でチェックインされませんでした。

■19:00　(11月1日)
　ディナーの時刻になり、宿泊客が大広間に集まってくる。このホテルでは従業員が3名しかいないため、
常にフロントに人を置けない事情があり、正面玄関は施錠される。
　それ以降はインターホンで呼び出して、従業員通路からチェックインしてもらう決まりとなっていた。

　大広間には、すでにチェックイン済の名が食事の席についていた。
すでに前菜をテーブルに用意してあったので、私はお酒の注文のみうける。
ハリーとモルフィスはビールを…　ジェシカは赤ワインを注文した。

■20:00
　しばらくはジャックと交代で、配膳やこの地方の紹介など、お客様の相手をしていた。
この時間になって、ジェシカが席を立って行った。
彼女と話をしたかったのだが、ジャックの姿が見えなかったので追いかけられなかった。

■20:20
　インターホンが鳴り、遅れていた4人目のエリスが到着したと連絡があった。
私は従業員通路から彼女を案内させ、チェックインをすませた。本来なら、そのまま客室まで
ご案内するべきなのだが、大広間に誰もいない時間をつくりたくなかったので、簡単に説明をすませ、
そそくさと大広間にもどることにした。

■20:45
　大広間に戻った時、すでに2人分のメインディッシュが配膳されていた。
ジャックの姿が見えないが、もしかしたらシェフのロンが自分で持ってきたのかもしれない。

■20:50
　遅れてチェックインしたエリスが大広間にやってきた。
私は、少し冷えてしまった前菜とビールを勧めたが、彼女はお酒は飲まないようだ。

　厨房にいるロンに「遅れていた宿泊客が来たので、料理を再度配膳して欲しい」と頼みにいった。
彼は、「もう仕事は殆どおわったので、自分で大広間に持ってくる」と言ってくれた。

■21:00
　ロンが一度さげた料理を再び大広間に持ってきた。
この頃には、モルフィスとハリーはだいぶブランデーを飲んでいたので、私は大広間のバー
カウンターにずっと居ることになった。

■21:30
　エリスが食事を済ませるとさっさと自室へ戻っていった。

■22:25
　モルフィスとハリーは随分もりあがって飲んでいたようだけど、モルフィスは酔いつぶれて
寝てしまったようだった。ハリーは私に軽く挨拶とチップを渡して、自室にもどっていった。

■22:40
　そろそろ大広間を片付ける時間となったので、私はテーブルにうっつぶして寝ているモルフィス
を起こした。彼はひどく眠たそうな顔で、自室に戻っていった。
それにしてもジャックはどこへ行ってしまったのだろう。

■22:50
　自室に戻ると、真っ青な顔をしたロンが私の部屋の前に居た。
「どうしたのロン? 酷い顔色よ?」
私は問いただしたが、彼はなにもいわずに自分の部屋に入っていった。

　何か良くないことがあったのだ。 私はそう直感した。

■22:56
 自室に入ると違和感を感じた。
ベッドのそばに、従業員用の上着がおいてあった。いつも私が着ているものだが、これは私の
　ものではない。所々に血痕がついていた。

■23:00
　私は、ホテルを一通り見回ることにした。
まず支配人室に行ったが、ジャックの姿は見えなかった。

■23:20
　小ホールに差し掛かった時、ジャックが倒れているのを発見する。
もしかして…ロンが…? 先ほどの酷い顔色を思い出す。

ジャックは仰向けに倒れており、既に絶命していた。周囲には鮮血が飛び散っている。
よく見ると近くにナイフが落ちている。 ロンがこのナイフで彼を刺したのかもしれない。
　ナイフの刃にはすこし凝固した血がこびりついている。私はこの血をジャックの服でそっとふき取る。

 その時、一瞬照明が暗くなる。 すぐ復帰したが…停電…か? いやな感じだ。

　私はジャックに直接触れないようにして、そのナイフを拾って自室に帰った。

■23:30
　私はふるえる手でナイフを自室の机の中に隠し、ベッドの中で目を閉じた。

■6:00(11月2日)～
　目が覚めた。
昨日の事は悪い夢であってほしい。私はそう願って… 小ホールに向かう。

「きゃっ!!」私は思わず叫び声をあげてしまった。
　ジャックの死体に…ではない。 死体の傍らに人物が立っていたので驚いたのだ。

■キャシーの情報

①ジェシカへ出した手紙
　私はキャシー、18年前に離れ離れになった貴女の妹です。
　私たちのお母さんは、私たちが離れ離れになった18年前…とある小さなホテルで起きた事件で
殺されてしまった。殺したのは多分、当時副支配人であったジャックという男だと思うわ。
　私はこの半年間、このジャックの経営するホテル…つまりお母さんの経営していた私たちのホテル
で住み込みで働いているの。18年前の事件を密かに調べるためにね。
　そして、助けて欲しい。一緒にジャックの不正を暴き、裁きを与えるために。

②ホテルの共用部のエアコンは、支配人室のリモコンで一括管理されているが、深夜0時には
　全て落とされる。 ※復旧は朝5時頃

③受付でジェシカに渡した指サックの内側には、ゼラチンが塗られていた。
　これを裏返して付着させる事により、ジェシカの指紋を偽装することが出来る。

④ホテルの創立者はキッシュという男性で、キャシーの祖父にあたる。
　キッシュはルリという女性と結婚し、ローザを授かる。キッシュの死後、ローザがホテルの支配人
となったようだ。ローザはデッドという男性と結婚し、ジェシカとキャシーを産んだが、その後離婚。

■あなたの目的

第1目標 勝ち点6	最終投票でジェシカを投票させる。

※最終投票でジェシカを拘束させる。

第2目標 勝ち点3	【土地の権利書】を手に入れよう。

※エンディング時に【土地の権利書】を持っている。

第3目標 勝ち点1	姉の存在を隠し通そう。

※6名の中に双子の姉がいることを全体公開されない。

■あなたの固有アクション　(探索フェーズで使用可能)

●指紋の偽装

アイテム【指サック】を所持した状態で使用可能。

●効果…指定したアイテムに【ジェシカの指紋】を残すことが出来ます。
※このアクションを使用後、【指サック】のカードは消失します。

※この固有アクションは探索フェーズで「固有アクション使用」と宣言をする事で使用できます。
固有アクションの内容を周囲に言う必要はありません。

※このアクションで使用できる対象は次の通りです。
①自分の所持品もしくは部屋にあるカード (公開/非公開を問わず)
②他人の部屋にあるカード(公開してあるものに限る)　※所持品は不可
③ホテル内にあるカード(公開してあるものに限る)
※情報のみのカード/(食品_液体_布)のようなものには、指紋はつきません。

■あなたの初期所持品　(自室に置いてある物)

① ナイフ　…所持していると、【所持品を奪う】【最終投票/同票決戦時】判定にパワーポイント+2
② 指サック…ジェシカの指紋がついており、これを何かに擦り付けると指紋を偽造できる。
③ 従業員の上着　…部屋においてあった上着。自分のものではない。所々に血痕がある。
④ 古い写真　…養母からもらった写真。18年前の家族が映っている。

■プレイのワンポイントアドバイス

自分を味方してくれる人間は誰なのか。ミスリードをうまく利用して、自分の都合のよいストーリーを作り上げろ。